

# 校内研だより



令和4年7月8日(金)  
研究推進部  
No.11

## 1 指導室訪問を終えて

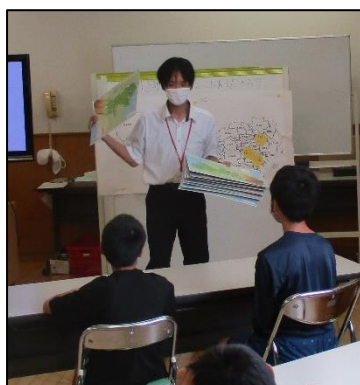
お互いの強みを認知、非認知にかかわらず、理解し合えると助け合える職場になるかなと思います。教員としてのスキルもちろん大切ですが、両輪を大切にこれからも進めていけるとよいですね。指導室とも気軽にやり取りできる関係でいられることも大事にしましょう。キーワードは個人と社会の「Well-being」です。



## 2 研究授業②を終えて

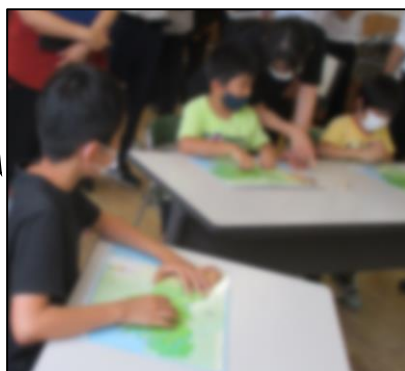
(1) 本時 <これから始まる水の学習の見通しをもつ1時間>

○前時の振り返りから小河内ダムに注目

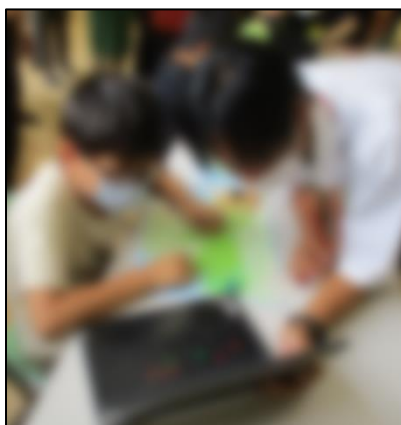


○ダムがどこにあるのか、予想して根拠を共有

立体地形図を触ったり、見たりして予想を立てます。自分の予想した場所にブロックをおいて、根拠を交流、話し合う中で、異学年の学習集団ならではの良さも光っていました。ダムのマークがあったのは、想定外でしたが、それだけよく見ていたということですね。



○自分なりの方法で調べる



第1時の振り返りを確認して、水はどこから来ているのか話し合いました。東京都のどこにダムが…?を共有して、立体地形図を紹介し、予想に移ります。その時に、自分の生活経験で身近な場所を確認してから入ったのはとても良かったですね。

個別最適な学びを目指して、調べる方法を選択させました。クロームブックを使っている子供がほとんどでした。他の手段も選択肢に入るような、投げかけがあってもよかったかもしれません。検討していきたいですね。しかし、クロームブックを使って、地図やHPなど、様々なものを使っていたのは良かったです。

○実験を通して検証、学習問題をつくっていく

志村先生がこだわった学習活動の「実際に水を流してみる」。この人数だからこそ間近で見られて、効果も高かったですね。水が海まで行けば「都内全域に行き届いた」という認識がクラスの中で強かったです。どこを工夫すると良かったか、検討できそうですね。最後は、学習問題をつくり、次回から調べ学習！

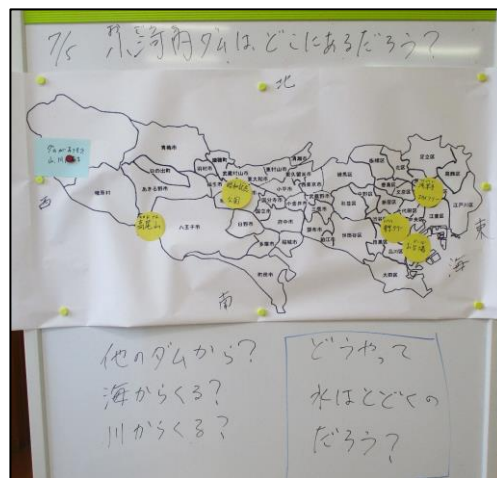
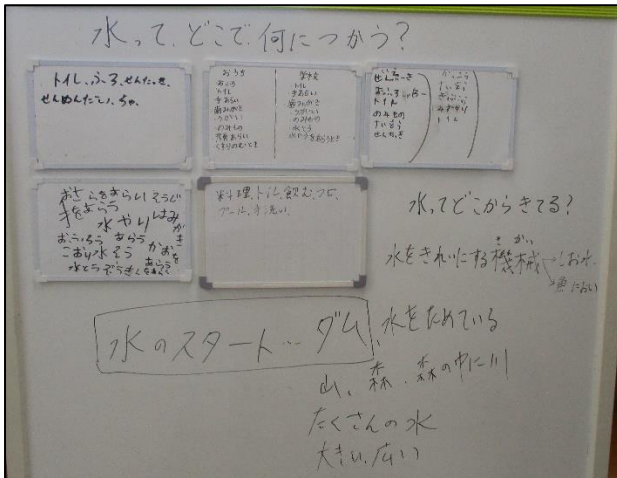


○研究協議会



先生方もよく話し合っ  
て、学び合いました。  
特別支援学級だからこ  
その特色や工夫を理解  
しながら、私たちも授業  
改善を重ねていきたい  
ですね。詳しくは、記録  
を参照してください。

○板書



(2) その他

○データ

・授業記録、研究協議会記録はクラスルームで配信しています。今後の参考にしてください。

○講師の石橋昌雄先生から

- ☆それぞれが活躍できる場面を意図的に用意する！
- ☆学習問題へ導くための最後の一押しに工夫を！
- ☆調べ方を考えさせ、調べ方のまとめも行う！

(☆山手線の線路の形は♡)

○授業者から



私自身、特別支援学級で初めて教える単元でした。梅の実学級の実態を踏まえ、いろいろなアプローチを考えました。課題は原因を分析し、今後に生かしたいと思います。事前の指導案検討、協議会では、たくさんのご意見をいただき、大変勉強になりました。どうもありがとうございました。

### 3 その他

☆振り返りについて学年で話してみてください。

☆ペーパーレス活動にご協力をお願いします。

☆19日(火) B部会(今後の予定、夏にやること) *研究だより*⑪

☆8月19日(金) 都小社研夏季研究会 *研究だより*⑫